

第35回 中四国精神保健福祉士大会岡山大会が開催されました。

2019年12月21日（土）～22日（日）2日間、岡山コンベンションセンターにて、第35回、中四国精神保健福祉士大会が開催されました。テーマは「ソーシャルワークの魅力体感アドベンチャー」、タイトルは～対話で進化・深化・真価～で、隊長がインディー・ジョーンズの映画音楽と共に、主人公の冒険家の衣装を身にまとい、映画を再現したパフォーマンスで司会をされ、とても工夫されていました。1日目は林道倫精神科神経科病院の地域医療部長一星昌子先生の基調講演で、先生の過去のご経験からデイケアや訪問看護、グループホームを先駆的に、患者様のニーズと共に作り上げてきたことを知りました。成功や失敗の事例を通して、本人が生きてきた過程に寄り添う大切さを教えていただきました。患者様の心の奥底にある想いを聞くべきで、自分達のケアに満足してはいけないことの大切さを実感しました。ワールドカフェでは他の人がどんな仕事をしているか対話をして、精神保健福祉士の魅力を語り合い、自分なりの魅力を見出すことができました。



2日目は5つのテーマ別分科会で、私は④精神保健福祉士の多様性に参加しました。



徳島県代表は徳島保護観察所の森岡和仁様が発表されました。ご活躍されている6名のパネリストの方のお話を聞き、PSWとしての倫理、協働、信念を振り返りました。精神保健福祉士の職域が医療や福祉だけにとどまらず、行政・司法・教育分野と様々な分野のお話を聞くことができ、人間性を豊かにすると思いました。とても充実した中四国精神保健福祉士大会でした。

